

平成22年度 大学院人文科学府修士課程第2期入学試験問題
(インド哲学史)

インド哲学史専修科目試験は、A「インド学の知識の試験」(配点は合計60点)とB「古典語の試験」(配点は合計40点)から構成されます。

A インド学の知識の試験

以下の八つの設問から、五つを選択して、それらに答えなさい。[配点 12点 x 5]

設問1： サンスクリット語の説話文献について説明しなさい。

設問2： 仏教以前のインドの宗教について説明しなさい。

設問3： シャーキャ・ムニの伝記資料と讃仏文学について説明しなさい。

設問4： インド初期仏教の基本思想を説明しなさい。

設問5： インド大乘仏教の基本思想を説明しなさい。

設問6： ヒンドゥー教とジャイナ教と仏教の関係を説明しなさい。

設問7： インドの代表的な宗教にはインド以外のアジア諸国に信仰が広がったものと広がらなかったものがありますが、その違いはどこにあるのかを説明しなさい。

設問8： ヒンドゥー教の基本的な信仰形態を説明しなさい。

B 古典語の試験

サンスクリット語の問題

(Monier-Williams の梵英辞書の使用のみ許可する)

(設問) 次のサンスクリット語の文を和訳しなさい。 [配点 40点]

asti Śrīparvatamadhye Brahmaṣpurābhīdhānaṃ nagaraṃ.

tacchailāśikhare Ghaṇṭākarnaṃ nāma rākṣasaḥ prativasatīti janāpavādaḥ sadā śrūyate.

ekadā ghaṇṭāṃ ādāya palāyamānaḥ kaścic cauro vyāghreṇa vyāpāditaḥ khāditaś ca. tatpāṇipatitā ghaṇṭā vānaraiḥ prāptā.

te ca vānarāś tām ghaṇṭāṃ sarvadaiva vādayanti.

tatas tannagarajanaiḥ sa manuṣyaḥ khādito dr̥ṣṭaḥ.

pratikṣaṇaṃ ca ghaṇṭāvādaḥ śrūyate.

anantaraṃ Ghaṇṭākarnaḥ kupito manuṣyān khādati ghaṇṭāṃ ca vādayatīty uktvā janāḥ sarve nagarāt palāyitāḥ.

tataḥ kuṭṭanyā vimṛśya markatā ghaṇṭāṃ vādayatīti svayaṃ pariñāya rājā vijñāpitaḥ.

deva yadi dhanopakṣayaḥ kriyate, tadāham enaṃ Ghaṇṭākarnaṃ sādhayāmi.